

# 令和3年度 登別市下水道事業報告書

## 1 概況

### (1) 総括事項

下水道事業は、今後、施設の更新時期を迎える一方、更なる人口減少や少子高齢化社会の進行により水洗化人口は減少すると予測され、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

本年度においては、下水道事業経営戦略を一部修正したほか、ストックマネジメント計画に基づき、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点的に実施するなど、経営の健全化に向けた取組を行いました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを着実に実施しました。

### イ 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ68,306 m<sup>3</sup>減少の3,146,341 m<sup>3</sup>、個別排水処理施設事業で前年度に比べ669 m<sup>3</sup>増加の17,761 m<sup>3</sup>となりました。

また、接続戸数（浄化槽設置基数）は、公共下水道事業で前年度に比べ112戸増加の21,217戸、個別排水処理施設事業で前年度に比べ2基増加の97基となりました。

### ロ 建設改良事業

管渠建設費においては、常盤町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所の改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの自家発電設備更新に伴う建築設備の改築更新を行いました。

## ハ 施設の現状

本年度末における施設の現況は、次のとおりです。

- ・ 終末処理場 若山浄化センター  
(施設構成) ポンプ棟、オキシデーションディッチ、最終沈澱池、塩素混和池、汚泥処理棟、送風機棟
- ・ ポンプ場 3か所 (若草ポンプ場、幌別ポンプ場、登別ポンプ場)
- ・ 管渠 汚水管 延長 263,860.31m  
雨水管 延長 4,713.75m

## ニ 財政状況

### (収益的収支)

収入は、営業収益7億1,679万8,091円(うち使用料収入6億6,191万7,032円)、営業外収益9億9,873万1,579円の合計17億1,552万9,670円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億6,841万888円、営業外費用2億4,075万6,430円、特別損失48万9,263円の合計16億965万6,581円となり、収支差引による当期純利益は1億587万3,089円となりました。

### (資本的収支)

収入は、企業債収入5億2,070万円、負担金及び分担金収入3,343万3,490円、補助金収入1億7,638万5,909円の合計7億3,051万9,399円となりました。

これに対し支出は、建設改良費2億1,772万8,188円、企業債償還金12億2,094万6,379円の合計14億3,867万4,567円となり、収支差引による不足額は、7億815万5,168円となりました。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補てんしました。